

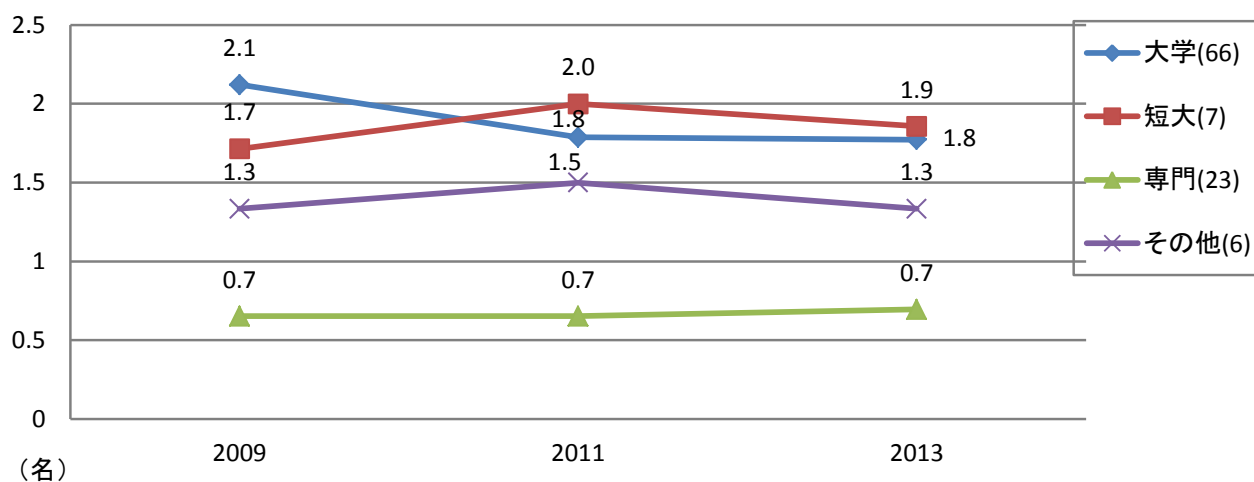
# \*\*\* グラフでみる実態調査 \*\*\*

## \* 職員数の推移 \*

比較3年間加盟館を対象とする

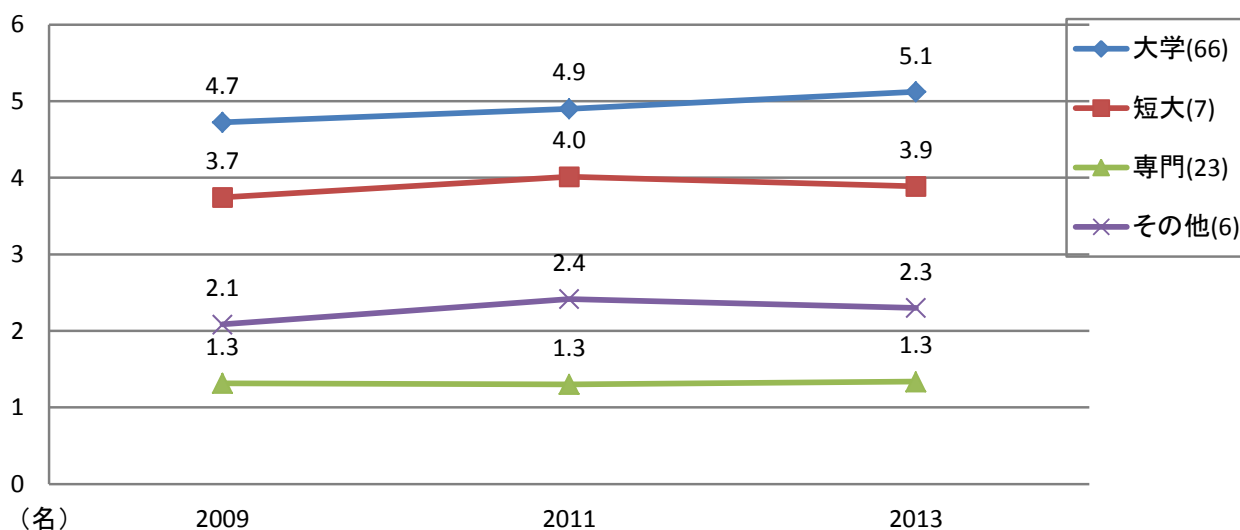
(正規職員・専任)

有効回答数102館



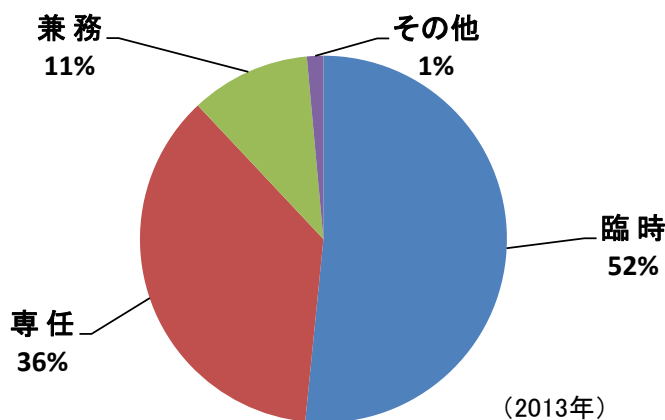
(全職員数)

有効回答数102館



## \* 職員数 (全体) の比率 \*

有効回答数127館



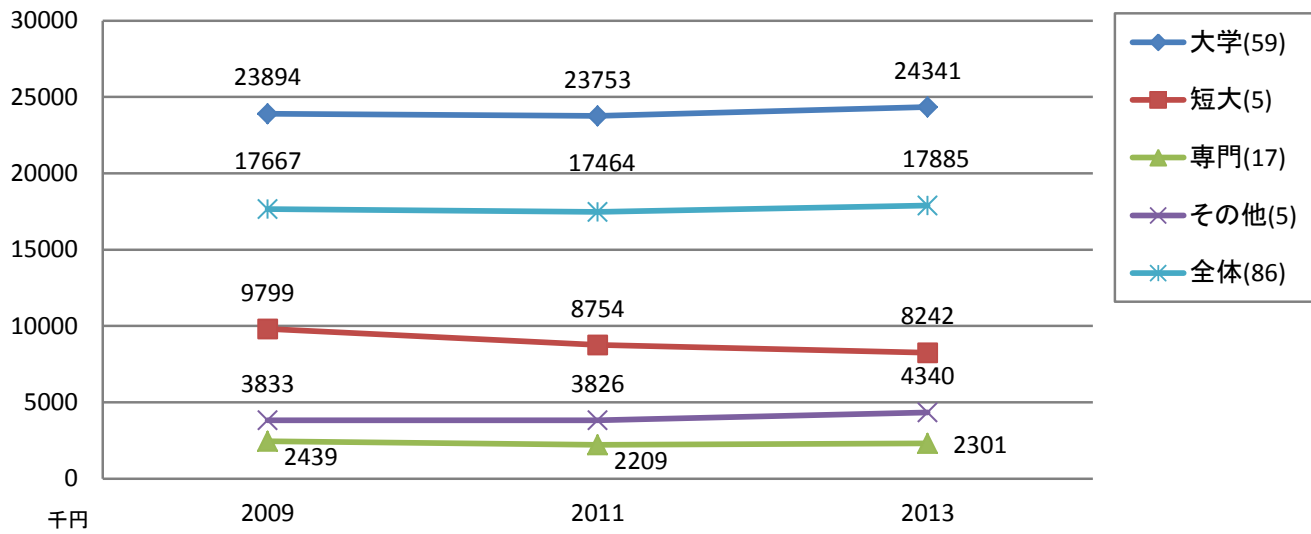
職員数(全体)での雇用比率をみると専任職員36%に対し、兼務職員・臨時職員・その他が全体の64%を占めている。臨時職員の内訳の比率は、機関直接雇用が74%、業務委託が20%、派遣が6%である。短大の臨時職員は機関直接雇用と業務委託のみ、その他では機関直接雇用のみとなっている。専任職員数は、全般に2011年より減少し、兼務と臨時の数が増加した。

＊年間資料購入費の推移＊

比較3年間加盟館を対象とし数値「0」の館を含む、「f」の館を除く

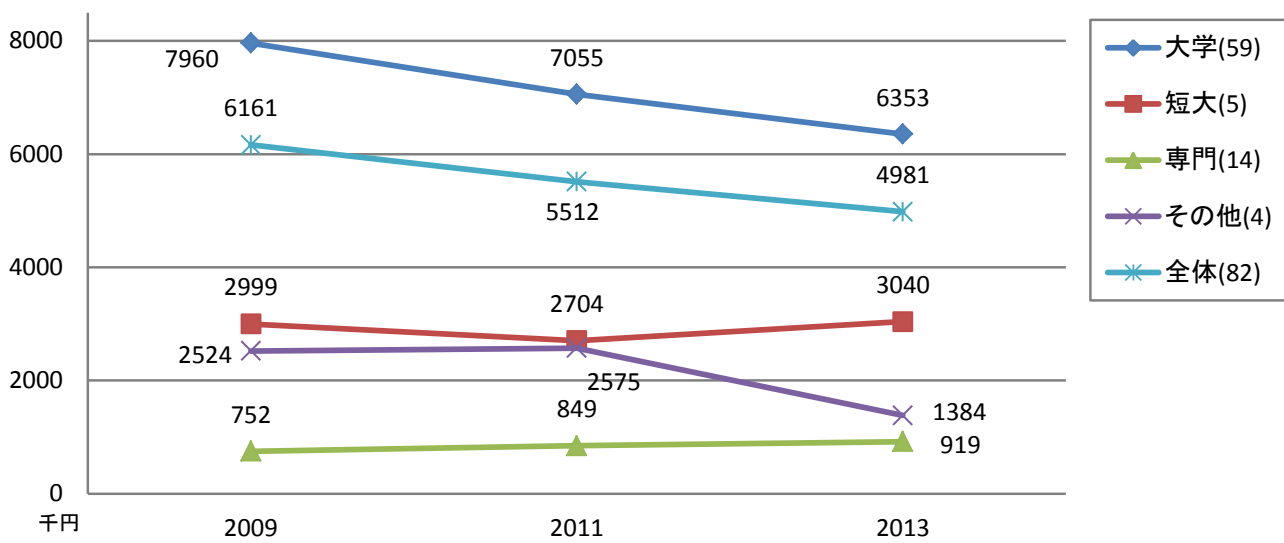
(全体)

有効回答数86館



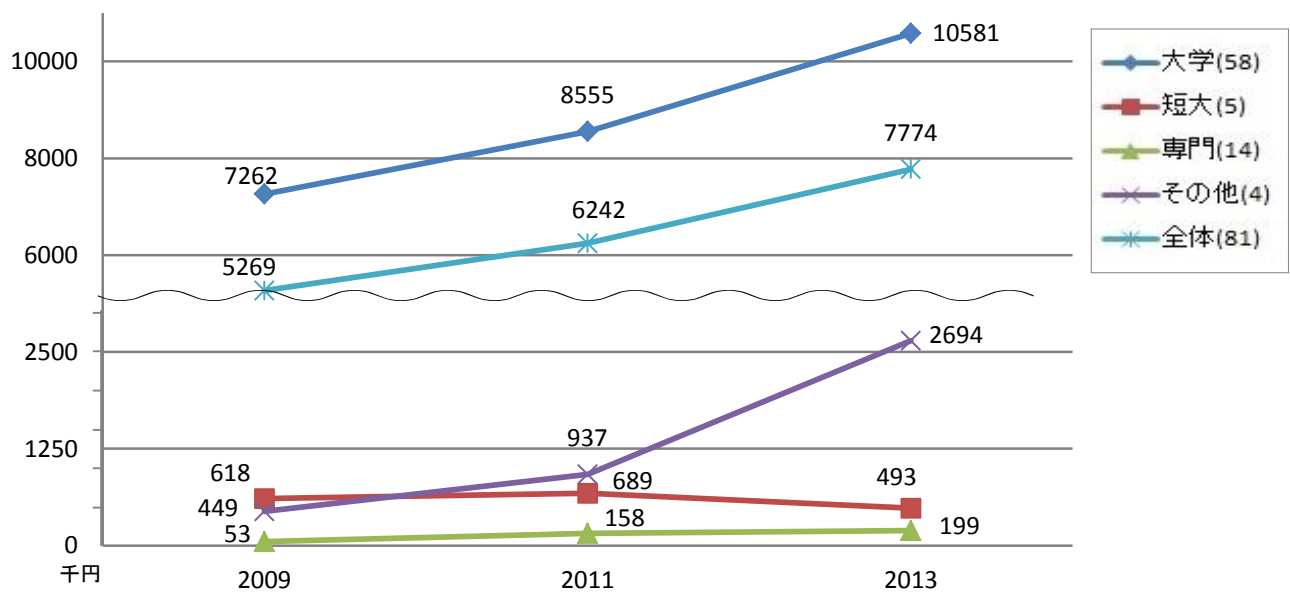
(逐次刊行物)

有効回答数82館



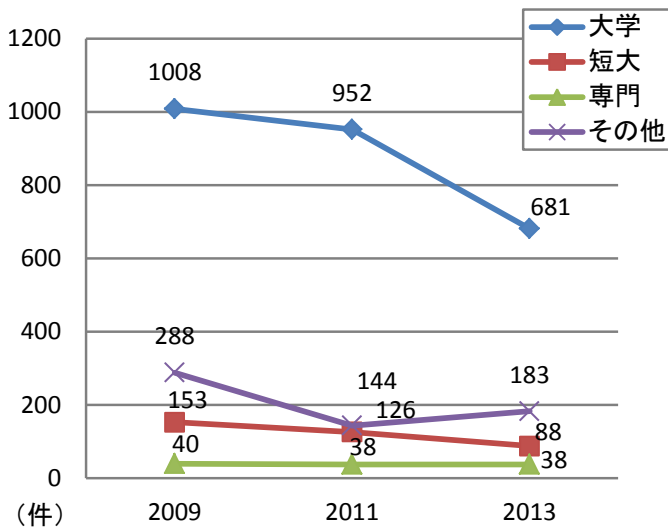
(電子情報資源)

有効回答数81館

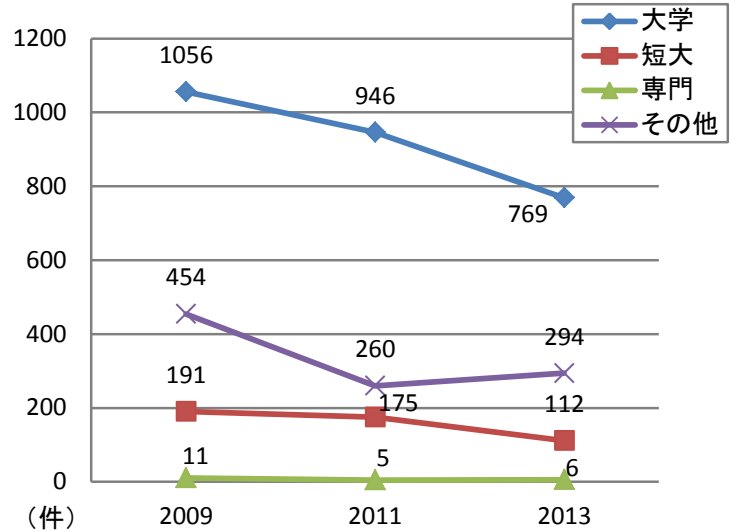


＊相互貸借＊

＊複写依頼（平均）＊



＊複写受付（平均）＊

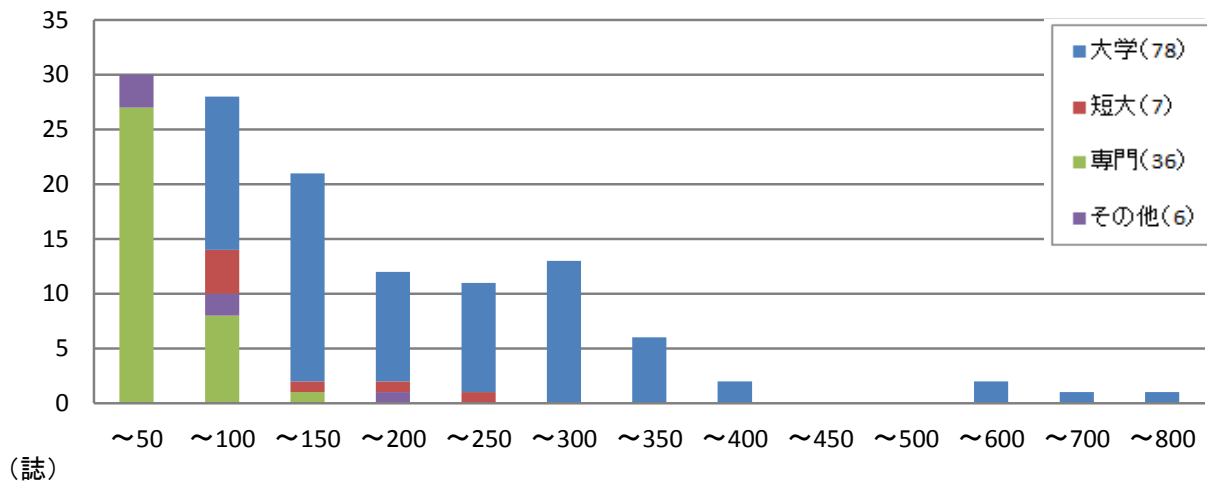


有効回答数

	大学	短大	専門	その他
2009年	75	10	27	6
2011年	76	10	27	7
2013年	78	7	28	6

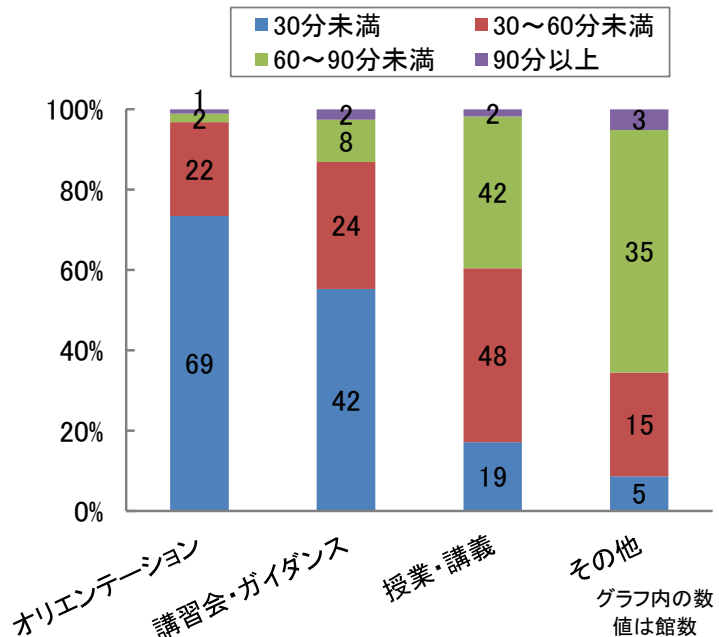
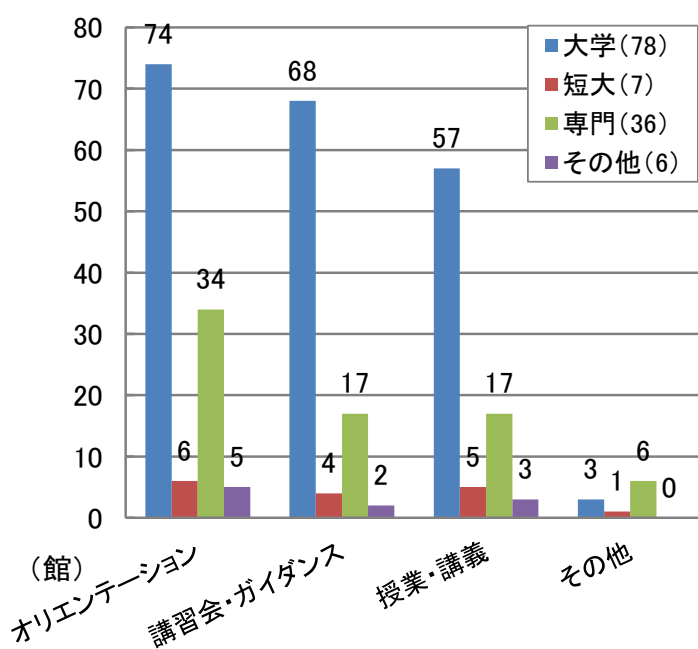
＊購入雑誌タイトル数＊

有効回答数127館



＊利用教育＊

有効回答数127館

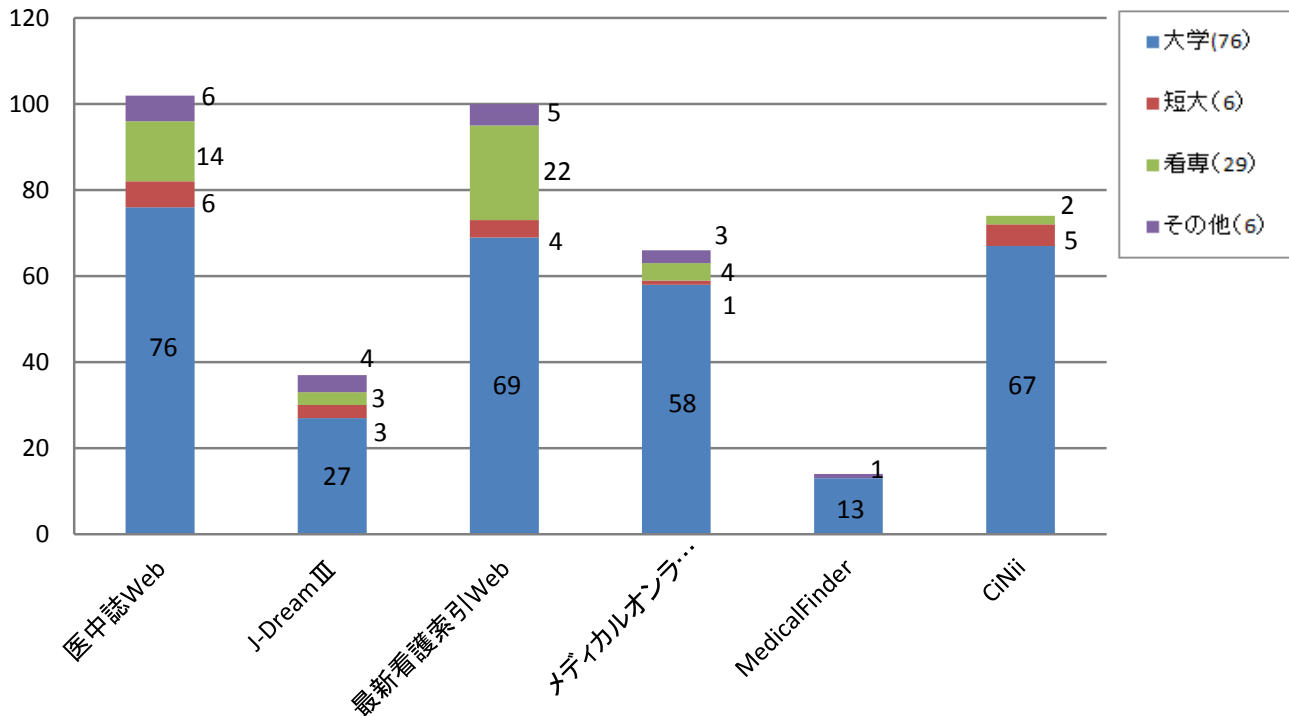


＊電子ジャーナル・データベース導入状況＊

二次資料データベースは117館(大学76館 短大6館 専門29館 その他6館)が導入している。  
 電子ジャーナルは74館(大学66館 短大2館 専門4館 その他2館)が導入している。  
 いずれも館単独ではなく大学本部・本館の予算で導入しているものも含む。

有効回答数117館

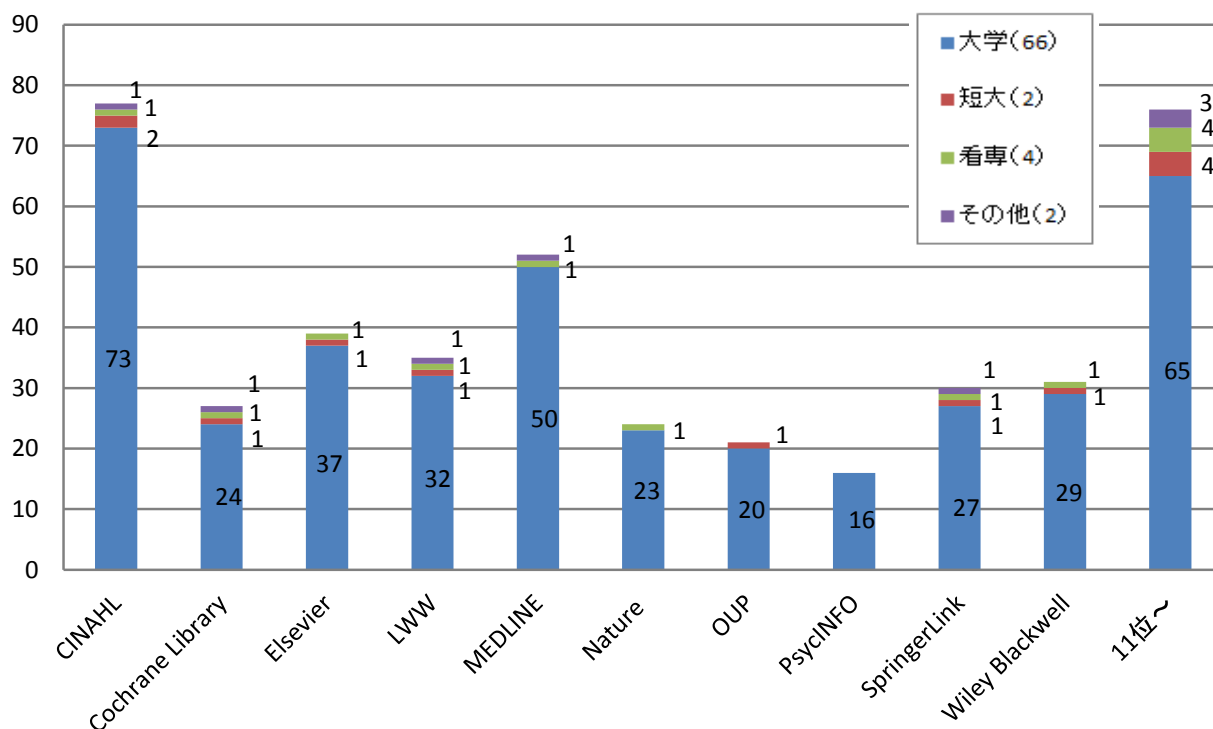
(国内)



国内データベースでは医中誌Web(102館)の利用が多く、専門の一部を除き全館で導入している。  
 ついで最新看護索引Web(100館)、CiNii(74館)、メディカルオンライン(66館)の導入が多い。  
 グラフに含まれない自由回答の「その他」には16種のデータベースがあり、うち7種は1館のみ導入しているものである。

(国外)

有効回答数74館



国外電子ジャーナルは総数が40種類と多いため、設問から導入数の上位10位と11位以下合計をグラフとした。  
 国外電子ジャーナルではCINAHL(77館)、MEDLINE(52館)の導入が多い。  
 11位以下のうち、設問にあるEJの導入数は70館であった  
 グラフに含まれない自由回答の電子ジャーナルは21種あり、うち13種は1館のみ導入しているものである。